

# 所のたより

神奈川県第二宗務所

発行所

神奈川県横浜市神奈川区台町3-1

本覺寺会館内

曹洞宗神奈川県第二宗務所

電話 045 (322) 2417

FAX 045 (322) 2418

URL <http://kana2.jp>

Email: [soto.kana2@gmail.com](mailto:soto.kana2@gmail.com)

## 所長就任の挨拶

所長 宗賢院住職 瀬戸良光



管内御寺院関係各位におかれましては、四衆接化のことと拝察申し上げます。日頃宗務所行政に対しましてご理解ご協力誠に有難うございます。

さて、昨年十二月任期満了に伴う宗務所長選挙におきましては、有道会・總和会会派のご推薦を賜り、また管内有権者のご賛同を頂き、無投票当選にて宗務所長に承認されました。もとより浅学非才の身であります。有能な職員と共に誠心誠意宗務行政に勤めてまいり所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

又、今期も本覺寺様のご厚意により、引き続き本覺寺会館を宗務所として貸与して頂きました。本覺寺御住職守長尚文老師には心より御礼申し上げ、御老師の法身堅固をご祈念申し上げます。石澤前所長始め、前役員老に於かれましては、新型コロナ

ウイルス感染症という未曾有の疫病下にて、平常な宗務行政がままならず、大変なご苦労があった事と存じ上げます。四年間大変お疲れ様でした。心より御慰労申し上げます。

日本では、今年五月八日に新型コロナウイルス感染症が、二類より五類に移行され、世界保健機構の発表によると、全世界での緊急事態宣言が解除されました。これにより、宗務所事業等コロナ禍以前に少しずつ戻す必要があります。今年度は、現職研修会・特派布教会・人權擁護推進委員会研修会等を再開し、梅花流特派講習会は、午後からの半日のみの講習を予定しております。

又、人權移動研修と檀信徒研修旅行につきましては、併せて開催する予定で、これは、初めての試みになります。本庁より通知の通り、人權研修について僧侶だけでなく宗務所管内の寺族や檀信徒等幅広く周知頂き、一人でも多くの方が参加出来るように開催に向けて準備を進めております。

さらに本年より、大本山總持寺大遠忌局からの依頼で、「曹洞宗大本山總持寺・總持寺祖院所蔵資料デジタルアーカイブ公開

## 新教区長紹介 (任期：令和5年6月11日～令和9年6月10日)



第9教区長  
宮崎 哲朗



第7教区長  
小泉 文勝



第5教区長  
岩波 弘道



第3教区長  
山中 聡英



第1教区長  
菊地 茂雄



第10教区長  
福井 勝年



第8教区長  
中村 正法



第6教区長  
桑山 信隆



第4教区長  
内野 慎吾



第2教区長  
稲垣 良正

事業」への協力をさせて頂く予定で。ただし、現在新型コロナウイルスが五類に移行したとはいえ、終息した訳ではありません。又、九波・十波と波が来れば事業の延期又は中止の判断をしなければならぬ事態となりますが、何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。

尚、今秋より、大本山總持寺御開山瑩山禪師七〇〇回大遠忌予修法要、来年春より本法要・慶賛法要と続きます。管内各寺院様に於かれましても集来寺院としてご協力頂きますようお願い申し上げます。

末筆ながら、管内諸老師、御寺様のご健勝と山門のご隆昌をご祈念申し上げ就任のご挨拶とさせていただきます。

合 掌



### 退任のご挨拶

前所長 龍昌院住職 石澤 昭 信



宗務所管内のご寺院諸老師、ご寺族の皆さまにおかれましてはご清祥にてご活躍の事と拝察

申し上げます。

さて宗務所をお預かりしての日々を顧みますと、初年度は書記一名を除き全員が新人で当初は何事も手探りの状況が続きましたが、皆一生懸命力を合わせ計画していた全ての行事を開催することが出来ました。二年目を迎え、今年も新たな気持ちで宗務所行政を勤めていかなければと思っていた矢先にコロナ禍

となり、結局二年目三年目と全ての行事が中止となってしまいました。最終年度はどうにか予定しておりました行事を開催することが出来ました。

このようなコロナ禍で致し方のない事ではありますが、それぞれの集会で育まれた旧友を温めることが難しいのは大変残念な事でした。お互いの顔を見て笑顔で気兼ねなく会話し、共に学べた事がいかに貴重で楽しい時間であったか身に染みるような四年間でございました。

また、管内のご寺院ご寺族の皆さまにはご理解ご協力を賜り

ました事、衷心より感謝申し上げます。

何もわからない私を支えて下さり、共に四年間勤めて参りました宗務所所員の皆さまには言葉に尽くせぬご助力ご加担を頂きました事、心より御礼申し上げます。

新たに就任されました瀬戸所長はじめ、役職員の皆さまにはどうか、ご法体ご自愛頂きながら益々ご活躍されます事を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

合 掌

### 就任のご挨拶

宗務所議員 岩泉寺住職 片岡 修 一



宗務所長新体制が動き出され、宗務所行政に篤心のご高配をいただき厚く御礼申し上げます。

私儀、昨年の十月より曹洞宗宗務所議員を勤めさせていただいております。何分未経験の事ばかりにて、また浅学非才勉強途上の身であります故、どこまで皆様のお役に立つことが出来るのか暗中模索の心境であります。そのが正直なところであり、まさしくしながら管内皆様のご法愛、御叱責のもと道心を奮い起こし、

一仏両祖様の御教えと祖道の恢弘に微力ながら努めさせていただ

だく所存でございます。

いま日本国内、そして世界中では平和、暮らし、人々の尊厳や基本的な生存権をも脅かすような危機的な状況が大きく拡がっているのが現状です。特に令和二年突如として蔓延したコロナウイルス感染症により、日本

の大切な文化でもある仏事の簡素化が顕著になり、寺院の存続も危ぶまれております。そのような世の中が不安な時こそ仏さまの智慧を指針とした日常生活を丁寧に勤めていくことが大切であると思っております。

まずは神奈川県内御寺院様の現状を把握し、皆様のご意見を拝聴し、宗門へ伝え又今現在の宗門の実情をしっかりと皆様にご報告させていただくことを第

一義とし、皆様のご意見ご要望を宗門に反映できますよう鋭意努力させていただきます所存でございます。

御高承のとおり令和六年は大本山總持寺御開山太祖瑩山紹瑾禪師七百回大遠忌ご正當を迎え、本年より国内九管区及び国外四つの国際布教総監部管内において予修法要が奉修されております。御寺院各位におかれましてはこの報恩行であります大遠忌に是非とも御加担御高配を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら寺門興隆、御山内皆々様のご健勝ご多幸を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

初秋の候、管内諸大宗師をはじめご寺族様、そして檀信徒の皆様におかれましては、愈々御清祥のことと欣幸に存じ申し上げます。

また神奈川県第二宗務所様は新たなスタッフを整えて瀬戸新

新年度のご挨拶

宗議会議員 宗三寺住職 服部直哉



謹啓 管内御寺院御尊董並びに御寺族及び檀信徒の皆様方におかれましては、御清祥の事、お慶び申し上げます。

さて、令和五年五月より新型コロナウイルスも五類に引き下げられまして、徐々にコロナ禍前の状況に戻りつつあります。

宗務所内の様々な行事も再開され、皆様とお顔を合わせる機会も増え生活も元通りになりつつありますが、六月末より第九派と言われております。まだまだ、油断できない状況ではあります。少しずつ生活が戻り、アフターコロナと言われる状況や環境の変化にも対応すべくお過ごし頂きたく存じます。

さて、令和五年は曹洞宗宗務庁主催の大本山總持寺御開山太祖瑩山禪師七〇〇回大遠忌の予修法要及び慶讃法要が始まり令和六年四月からは本法要が厳修されます。この五十年に一度の法縁に感謝すると共に一佛兩祖

の教えを後の者に伝えていく「相承」が大切なことと思われまます。また、宗門だけではなく、各御寺院の伝統・法燈を後に伝えて行くことが、我が宗門の役目でありそれと同時に布教化の在り方と思われまます。

宗務行政におきましても、各御寺院並びに檀信徒の皆様「安心・安全」をモットーに日々努力してありますが、形ある物は時至りて壊破すると申します様に、宗門内では、檀信徒会館及び宗務庁機能の今後の在り方についての議論もあり、様々な方々から御助言も賜りながら、方針を明確にするべき時期に差し掛かっております。本員も専門部に選任され様々なご意見を踏襲し、同じ轍は踏まない様に宗門の健全たる運営に邁進していく所存でございますので、今後とも、皆様方のご教導ご支援のほど、宜しくお願いいたします。管内御寺院の山門の興隆と山内皆様の法体堅固を祈念いたして  
おります。

謹白

宗務所役職員紹介



庶務主事  
法雲寺  
香渡 規玄



教化主事  
梅宗寺  
館盛 寛行



副所長  
報恩寺  
加藤 良隆



所長  
宗賢院  
瀬戸 良光



書記  
以津院  
村木 龍佑



書記  
徳善寺  
尾崎 詞立



書記  
宝蔵寺  
金子 大晃



人権擁護推進主事  
宗興寺  
中野 琢哉



梅花主事  
修廣寺  
菅原 敦生

令和4年度 神奈川県第二宗務所 事業報告  
(自:令和4年4月1日~至:令和5年3月31日)

月	事業	所会、委員会等	その他
4		11 梅花講長会 18 詠範会総会(本覺寺) 24 宗務所-寺族会総会・研修会(中止)	1 人権三者協議会(本庁) 10~16 大本山總持寺 授戒会(中止) 23~29 大本山永平寺 授戒会
5	梅花流全国奉詠大会(中止)	46 婦人会総会(宗務所)(中止) 23 保護司連合会神二支部 総会 布教教化研究会(中止) 26 宗務所 会計監査会	18~19 管区 布教師養成基礎講座①
6	2 人権擁護推進委員会研修会 6 第1回梅花流師範詠範研修会(本覺寺) 20~24 梅花流特派講習会 27 梅花流宗務所検定会 梅花流檀信徒講習会(中止)	9~10 第1回 決算納入所会	1~2 管区-人権研修会(当番:神奈川県第2)(中止) 16 大本山總持寺主催 曹洞宗被差別戒名物故者法要 曹洞宗婦人会関東管区研修会(中止) 26 神奈川県同宗連 総会(川崎大師)
7	7月11~20日まで7月盆休務 7月21~28日再開		19 管区 ほほえみ仏教室①
8	8月1日~15日まで8月盆休務 18 宗務所 再開 25 現職研修会(中止)	29 第1回教区長会議(書面にて)	
9	4 宗務所-特派布教会(中止) 20~23 秋彼岸会休務	12 梅花講長会	1~2 寺族中央集会(宗務所)(中止) 7~8 全国人権主事研修会(場所:本庁) 8 婦人会絵本を作る(宗務所会議室) 16 大本山永平寺主催 曹洞宗被差別戒名物故者法要(内献) 23~29 大本山永平寺 御征忌
10	第4教区特派布教会(中止) 17 第2回梅花流師範詠範研修会(本覺寺)	24~25 人権移動研修会(奈良県水平社博物館) 31 寺族会 日帰り研修 豊川稲荷東京別院	3 管区 教化活動企画委員会 12~15 大本山總持寺 御征忌 18 管区 ほほえみ仏教室② 27~29 大本山永平寺東京別院 御征忌(中止) 27 管区 教化活動推進委員会
11	4 第48回梅花流管内奉詠大会 (開講諷経、鶴見大学記念ホール) 8~10 檀信徒研修旅行(鹿児島) 28 福寿会住職勤続表彰	28 第2回教区長会議	10 管区 教化指導者研修会 14~15 寺族中央集会(宗務所)(中止)
12	19 宗務所 後期締め日 (12月22日より1月11日まで冬季休務)	5 臨時所会	1~8 臘八摂心 20~21 管区 布教師養成基礎講座② 14~15 全国所長会
1	11 大本山總持寺年賀拝登 12 宗務所再開	未定 寺族関係団体連絡会(中止)	15 荊冠旗開き 27 部落問題を考えるかながわ県民後援会
2	13 第3回 梅花流師範詠範研修会	20 青年同志会祝賀会 未定 寺族会研修会(中止)	未定 寺族代表者研修(中止) 2 管区 教化活動企画委員会 14 人権センター講演会 15 管区 教化活動推進委員会
3	18~21 春彼岸会休務	13 布教教化研究会 27 第2回 予算所会	2 管区 禅をきく会 5~6 全国所長会 6~7 実務担当者会議 15~16 全国人権主事研修会 16~17 管区 布教講習会 31 教化活動推進委員会

令和4年度曹洞宗神奈川県第二宗務所収支決算報告書

総収入 51,483,545 円
総支出 51,483,545 円
差引額 0 円

自令和4年04月01日
至令和5年03月31日
(単位:円)

収入の部

Table with 6 columns: 款, 項, 令和4年度予算額, 令和4年度決算額, 増減決算-予算, 付記. Rows include 1 宗務所費, 2 手数料, 3 補助金, 4 雑収入, 5 預り金入金, 6 繰越金, and 収入合計.

支出の部

Table with 6 columns: 款, 項, 令和4年度予算額, 令和4年度決算額, 増減決算-予算, 付記. Rows include 1 会議費, 2 事業費, 3 事務費, 4 慶弔費, 5 予備費, 6 仮払金, and 臨時予備金.

令和5年6月15日

曹洞宗神奈川県第二宗務所 所長 瀬戸 良光

梅 花

令和4年度曹洞宗神奈川県第二宗務所梅花講収支決算報告書

収入決算額 3,914,095 円  
 支出決算額 3,914,095 円  
 差引額 0 円

自令和4年04月01日  
 至令和5年03月31日  
 (単位：円)

収入の部

款	項	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	増 減 決算-予算	付 記
1 会費	1 会費	1,450,000	755,000	△ 695,000	管内大会費 520,000円 検定会費 147,000円 特別研修会費 88,000円
2 助成金	1 助成金	1,500,000	1,500,000	0	宗務所一般会計より
3 雑収入	1 雑収入	110,000	718,557	608,557	宗務庁補助金、管内大会賛助金、添菜等
4 繰越金	1 繰越金	900,000	940,538	40,538	
収入合計		3,960,000	3,914,095	△ 45,905	

支出の部

款	項	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	増 減 決算-予算	付 記
1 事業費		3,610,000	3,276,974	△ 333,026	
	1 管内大会費	1,600,000	1,494,150	△ 105,850	鶴見大学記念ホールにて開催、会場費、記念大会積立金50万
	2 検定会費	400,000	390,400	△ 9,600	検定会講師謝礼、会場献香料他
	3 研修会費	400,000	300,000	△ 100,000	詠範会助成金30万 講師研修費10万
	4 特別研修会費	360,000	391,874	31,874	師範詠範講習会(年3回)謝礼、会場費等
	5 特派師範講習費	650,000	500,550	△ 149,450	各教区会場費+特派師範宿泊代・飲食費・交通費×2名分
	6 管内師範養成費	200,000	200,000	0	師範特別養成強化費として師範会へ助成
	7 講習会費	0	0	0	檀信徒講習会等(R4は檀信徒講習会は中止)
2 会議費		30,000	26,767	△ 3,233	
	1 会議費	30,000	26,767	△ 3,233	所講役員会、講長会会議費
3 雑費		200,000	214,892	14,892	
	1 雑費	200,000	214,892	14,892	特派師範宗務所会場主前日打合せ懇親会等
4 予備費		120,000	0	△ 120,000	
	1 予備費	120,000	0	△ 120,000	
	繰越金	0	395,462	395,462	次年度へ繰越
支出合計		3,960,000	3,914,095	△ 45,905	

管内大会特別会計

款	項	令和3年度 積立合計	令和4年度 積立金	令和4年度 期末残高	付 記
1 特別会計	1 管内大会積立金	2,000,000	500,000	2,500,000	記念大会積立金として

令和5年6月15日

曹洞宗神奈川県第二宗務所 所長 瀬戸 良光

令和5年度 神奈川県第二宗務所 事業計画  
(自:令和5年4月1日~至:令和6年3月31日)

月	事業	所会、委員会等	その他
4	3 第1回梅花流師範詠範研修会	6 梅花講長会 17 詠範会総会(本覺寺) 20 寺族会総会(本覺寺) ※研修会中止 30 保護司連合会神二支部 総会	3 人権三者協議会(本庁) 10~16 大本山總持寺 授戒会 23~29 大本山永平寺 授戒会
5	24~25 梅花流全国奉詠大会(東京) 29 人権擁護推進委員会研修会 (ホテル・ザ・ノット横浜)	15 婦人会総会・研修会(宗務所) 18 宗務所 会計監査会	16 曹洞宗婦人会 評議員会 17 曹洞宗婦人会 総会 22~23 布教師養成基礎講座① 28 神奈川県同宗連 総会
6	5 梅花流檀信徒講習会(中止) 19 梅花流特派講習会(西有寺) 20 梅花流特派講習会(1、2、4、5教区) 21 梅花流特派講習会(3、8教区) 22 梅花流特派講習会(6、9教区) 23 梅花流特派講習会(7、10教区) 26 梅花流宗務所検定会(西有寺)	15~16 第1回 決算納入所会	2 管区 瑩山禪師大遠忌予修法要 2 管区 宗門護持会管区集会 16 大本山總持寺主催 曹洞宗被差別戒名物故者法要 16 管区 教化センター布教師会研修会 管区 曹洞宗婦人会研修会 23 管区 教化指導員研修会
7	7月11日~19日まで7月盆休務 20 7月20日~31日再開		19 管区 ほほえみ仏教教室①
8	8月1日~15日まで8月盆休務 17 宗務所 再開 28 現職研修会(レンブラントホテル厚木)	31 第1回教区長会議	
9	4 特派布教会(鶴見大学記念ホール)  9月20日~23日 秋彼岸会休務	11 梅花講長会	6 管区 教化活動企画委員会 26~27 寺族中央集会(宗務庁) 13~15 全国人権主事研修会 婦人会絵本を作る会 16 大本山永平寺主催 曹洞宗被差別戒名物故者法要 23~29 大本山永平寺 御征忌 27 管区 教化活動推進委員会
10	3 第4教区特派布教会 16 第2回 梅花流師範詠範研修会 25~26 人権移動研修・檀信徒研修旅行(宮城)	20 寺族会 日帰り研修会	12 管区 ほほえみ仏教教室② 12~15 大本山總持寺 御征忌 24~25 管区 布教講習会 27~29 大本山永平寺東京別院 御征忌 31~1 管区 人権研修会(千葉)
11	6 第49回梅花流管内奉詠大会 (開講諷経、鶴見大学記念ホール)		20 管区 教化センター布教協議会
12	4 福寿会・住職勤続表彰  18 宗務所 後期締め日 12月21日~1月10日 冬季休務	4 第2回教区長会議	1~8 臘八摂心 11~12 布教師養成基礎講座② 全国所長会臨時総会
1	11 大本山總持寺年賀拝登 11 宗務所再開	寺族関係団体連絡会	30~31 管区 役職員研修会
2	19 第3回 梅花流師範詠範研修会	布教教化研究会 寺族会研修会	1 管区 教化活動企画委員会 27 管区 教化活動推進委員会 管区 寺族代表者研修
3	3月17日~20日 春彼岸会休務	25 第2回 予算所会	未定 管区 禅をきく会 13~15 全国人権主事研修会(本庁) 全国所長会総会 実務担当者会議 神奈川人権センター研修会

※ 新型コロナウイルス感染症等の流行状況により、上記の事業も中止になる場合があることをご理解いただきたいと思います。

令和5年度曹洞宗神奈川県第二宗務所収支予算

総収入	50,210,840 円
総支出	50,210,840 円
差引額	0 円

自令和5年04月01日  
至令和6年03月31日  
(単位：円)

収入の部

款	項	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	増 減	付 記
1 宗務所費	1 宗務所費	38,710,840	37,950,280	760,560	管内寺院宗費賦課金合計額の20%
2 手数料	1 手数料	2,000,000	2,000,000	0	
3 補助金	1 補助金	300,000	300,000	0	宗務庁補助金
4 雑収入	1 雑収入	2,200,000	1,400,000	800,000	会費、広告費、添菜、利子、他
	1 事務費	0	0	0	大遠忌事務費として大本山總持寺大遠忌局より
5 預り金入金	1 預り金入金	0	0	0	本庁一教区補助・ほか 宗務所経由の支出先が明確であるもの
6 繰越金	1 繰越金	7,000,000	7,000,000	0	前年度より繰越
収入合計		50,210,840	48,650,280	1,560,560	

支出の部

款	項	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	増 減	付 記
1 会議費		5,146,000	3,946,000	1,200,000	
	1 宗務所会議費	1,500,000	1,500,000	0	宗務所会議費
	2 諸委員会費	1,000,000	0	1,000,000	梅花全国大会旅費及び諸経費 (R4は中止)
	3 所会旅費	1,060,000	1,060,000	0	所会議員 (10万) ・参与旅費 (3万)
	4 会議雑費	300,000	100,000	200,000	役職員会議、諸団体連絡会議等
	5 負担金	1,286,000	1,286,000	0	管区負担金、管区布教師協議会、全国宗務所長会
2 事業費		13,650,000	13,950,000	△ 300,000	
	1 現職徒弟研修費	1,500,000	1,500,000	0	現職研修 (会場はホテル会議室にて)
	2 所梅花講補助費	2,000,000	1,500,000	500,000	
	3 檀信徒研修費	1,500,000	3,000,000	△ 1,500,000	檀信徒研修宗務所負担金、役職員旅費、諸雑費
	4 助成費	1,800,000	1,800,000	0	寺族会、保護司会、婦人会 (各30万)
	5 教化活動費	1,500,000	1,500,000	0	青年同志会 (50万) 教区寺族会 (@2000×寺院数)
	6 人権研修費	4,000,000	3,300,000	700,000	教化研修費、布教教化委員会、特派布教会R4は中止
	7 褒賞費	900,000	900,000	0	移動研修、人権委員会研修会、人権補助金 (10教区分)
	8 所の便り発行費	450,000	450,000	0	福寿会、住職30,40,50年表彰、他
					所の便り発行費
3 事務費		23,961,080	23,204,080	757,000	
	1 役員報酬	2,400,000	2,600,000	△ 200,000	所長、副所長 (月10万×2人×12か月)
	2 職員報酬	9,120,000	9,880,000	△ 760,000	職員主事 (月10万×4人) ・書記 (月12万×3人) 各12か月
	3 事務研修費	700,000	700,000	0	
	4 実費弁償	150,000	150,000	0	実務担当者会議、移動費他
	5 旅費	1,080,000	1,080,000	0	通勤手当月1万円×12か月×9名
	6 通信費	700,000	700,000	0	切手、郵送料、振込料
	7 所費徴収費	3,871,080	3,794,080	77,000	宗務所費×10% 宗費完納返礼各教区
	8 消耗品費	400,000	400,000	0	事務消耗品
	9 備品費	2,000,000	1,000,000	1,000,000	R5はPC4台、セキュリティーリース契約等
	10 印刷費	600,000	400,000	200,000	封筒印刷代、所住所録作成
	11 事務所費	1,440,000	1,200,000	240,000	宗務所借用料 (12万×12カ月)
	12 電話・光熱費	800,000	600,000	200,000	電話、電気、ガス、水道、清掃費
	13 雑費	300,000	300,000	0	
	14 福利厚生費	400,000	400,000	0	業務災害総合保険 施設賠償責任保険 等
	小計	23,961,080	23,204,080		
4 慶弔費		900,000	900,000	0	
	1 慶弔費	800,000	800,000	0	祝賀、香資、生花
	2 旅費	100,000	100,000	0	役職員慶弔旅費
5 予備費		6,553,760	6,650,200	△ 96,440	
	1 予備費	1,000,000	1,000,000	0	
	2 臨時予備費	5,553,760	5,650,200	△ 96,440	
6 仮払金	1 預り金出金	0	0	0	預り金入金の為の科目
支出合計		50,210,840	48,650,280	1,560,560	

臨時予備金	1 臨時予備金	令和5年度 5,000,000	令和4年度 8,000,000	合計額 61,000,000	
-------	---------	--------------------	--------------------	-------------------	--

令和5年3月27日

曹洞宗神奈川県第二宗務所 所長 瀬戸 良光



梅 花

令和5年度曹洞宗神奈川県第二宗務所梅花講収支予算

収入予算額	3,850,000 円
支出予算額	3,850,000 円
差引額	0 円

自令和5年04月01日  
至令和6年03月31日  
(単位：円)

収入の部

款	項	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	増 減	付 記
1 会費	1 会費	850,000	1,450,000	△ 600,000	管内大会費 1,000,000円 (R4実績516000円) 検定会費 240000円 (R4実績147000円) 特別研修会費 210,000円 (R4実績88000円)
2 助成金	1 助成金	2,000,000	1,500,000	500,000	宗務所一般会計より
3 雑収入	1 雑収入	600,000	110,000	490,000	宗務庁補助金、管内大会賛助金、祝賀、添菜
4 繰越金	1 繰越金	400,000	900,000	△ 500,000	
収入合計		3,850,000	3,960,000	△ 110,000	

支出の部

款	項	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	増 減	付 記
1 事業費		3,460,000	3,610,000	△ 150,000	
	1 管内大会費	1,500,000	1,600,000	△ 100,000	鶴見大学記念ホールにて開催。会場費、記念品積立金他
	2 検定会費	400,000	400,000	0	R5は検定会実施予定
	3 研修会費	400,000	400,000	0	詠範会助成金30万 講師研修費10万
	4 特別研修会費	360,000	360,000	0	師範、詠範研修会(年3回)実施予定
	5 特派師範講習費	600,000	650,000	△ 50,000	各教区会場費+特派師範宿泊代・飲食費・交通費×2名分
	6 管内師範養成費	200,000	200,000	0	師範特別養成強化費
	7 講習会費	0	0	0	檀信徒講習会等 (R5は檀信徒講習会は中止)
	小計	3,460,000	3,610,000		
2 会議費		30,000	30,000	0	
	1 会議費	30,000	30,000	0	所講役員会、講長会会議費
3 雑費		240,000	200,000	40,000	
	1 雑費	240,000	200,000	40,000	
4 予備費		120,000	120,000	0	
	1 予備費	120,000	120,000	0	
支出合計		3,850,000	3,960,000	△ 110,000	

管内大会特別会計

款	項	令和5年度 積立金	令和4年度末 積立金	令和5年度 期末残高	付 記
1 特別会計	1 管内大会積立金	500,000	2,500,000	3,000,000	第50回記念大会記念品積立金として (令和6年度実施)

令和5年3月27日

曹洞宗神奈川県第二宗務所 所長 瀬戸 良光

人権移動研修会

奈良「水平社」博物館を訪ねて

第十教区 教区長 小泉 俊 彰

私が第十教区長を拝命してから、実施された人権移動研修会は一年目にあつて以来、今回で二回目となる。この間二年間は新型コロナウイルスの蔓延で中止であつた。今回はコロナの第七波も落ち着いてきた時で、団体行動もそれなりに節度を持つて行われたと思つている。

十月二十四日朝、新横浜駅に集合し新幹線で京都へ、そこから貸し切りバスで奈良へ入つた。当日の参加者は石澤所長以下二十二名であつた。

一日目は宿泊先のホテルで、部落解放同盟奈良県連合会の坂本憲秀氏の講演とデイスカッションが行われた。

翌日はホテルから御所市柏原にある「水平社博物館」へ行き、ここで二班に分かれ、博物館の案内人に説明を聞きながら館内見学と水平社設立に大きくかわつた場所を案内され説明を受けた。

水平社博物館のある場所は、周りは田園の広がる閑静な所にあり、ここで部落解放同盟が声を上げたとは思えない感じがした。

館内案内での説明を展示品と共に聞いて感じたことは、部落



差別のみではなく、幅広い意味で現在でも差別が広がっていることを再確認した部分が多々あつた。

水平社創設から令和四年三月で百年となると言われたが、人権問題を始めとして部落差別問題は未だにくすぶっているとの

説明に心が痛んだ。

また、部落差別問題については学校でも教えないと言われる、現代社会の中で広がっているインターネットやSNSを通じて知らない間に様々な差別問題を引き起こしていることもあるのではないかと思ひ考えさせられました。

今回の人権研修に参加して、一つ部落差別をあげられたが、現代社会の中で人権問題の中に様々な差別問題を包括していることを思い起こされ、更に多岐

にわたつて差別の内容が広がっており、知らず知らずの中で拡散されている事が自分の中にもあるのではないかと問ひもした。まだまだ人権差別は他人事でも感じている部分が多々あるように感じ、もう一度原点に返り、考え直すことの必要性を痛感した研修会であつた。

これからは更に自己の行動や言語に心を砕いて対応していきたいと思つている。

人権学習

第八教区

鳳勝寺 副住職

山下 玄 通



東日本大震災から十二年が経ちました。震災発生時、ニュースで流れていた津波の映像に強い恐怖を感じたのをはつきりと覚えています。この世のものは思えないあまりの光景に絶句しました。

それから数週間後、第四教区の御寺院様方と被災された宗門寺院様を訪問させていただく機会がありました。ニュースで見ただものより遥かに衝撃的な惨状がそこにはありました。無造作になぎ倒されている木々、海岸から小高い丘の上にもまで広がっている瓦礫、御遺体が見つかった場所を記した赤い印が、瓦礫の山となつてしまった町内の至る所にあり、津波の恐ろしさ、容赦の無い大自然の脅威をまざまざと見せつけられました。私はあの日見た光景を生涯忘れる



ことはないと思います。

しかし、今回参加させていただいた人権学習において、震災当時感じていた衝撃や恐怖が自分の中で少し薄れているのではないかと感じました。講演いただいた先生のお話の中で「当事者意識の改善」という言葉がありました。直接被災をしていない我々にとっての十二年と、被災者の皆様の十二年は全く違う意味を持ちます。復興もまだまだ半ばであり、被災者の皆様の心が癒えているとは言えません。宗門の僧侶として、また、一人の人間として何が出来るのか、後世に何を伝えて何を残さなければいけないのかを考えさせられる人権学習となりました。

### 檀信徒研修旅行に参加して

第一教区 本覺寺 檀信徒 加藤 文江

羽田に集合し空路鹿児島へ、総勢39名がバス二台に分かれ、コロナ対策をしっかりと行いながらの行動でした。昼食後、永平寺鹿児島出張所「紹隆寺」へ。法要後監寺老師のありがたい法話を聞かせて頂き、その後指宿温泉へ。

宗務所様のご厚意により全員砂風呂に入れる事になりました。荷物の片付けもせず、第一の目的であった砂風呂に早速行ってみました。浴衣に着替え風呂場へ、木枕に頭を乗せ、気をつけの体制を取ったら、お構いなしに首から足元に砂を掛けられ、重さと熱さで十五分間。初体験でしたが何とか達成する事が出来ました。

二日目は長崎鼻・池田湖・知覧へ。特攻観音前で平和追悼法要後、全員で梅花の追善供養御和讃をお唱えしました。そして記念館へ。十七歳の若き特攻隊員が出撃前に家族等に送った最後の手紙や遺書等の展示が有り、読むたびに涙、涙で拝見いたしました。昼食会場までの間にバスガイドさんが、特攻隊員が出撃までお世話になった食堂のおかみさん（平成四年四月二十二日亡）が当時の事を後世に引き

継ぐ為に語った内容を教えてくださいましたが、これも涙、涙で聞いていました。

昼食後、武家屋敷、島津家墓所を巡りホテルへ。最後の夕食時、今迄でしたらカラオケ等の宴会でしたが今回はコロナ禍でも有りビンゴゲームを開催して下さいました。

三日目、仙巖園から桜島へ。行きはフェリーに乗り、戻るときは陸続き側からバスで移動し黒

酔の郷へ。酔も五年物から十五年物まで有る事を知り、びっくり。その後焼酎工場を見学後、帰路に。お天気にも恵まれ、ハブニングも有りましたが、旅行支援の對象になり一部返金やクーポン券も頂戴し、体調不良の方も出ず、楽しい三日間でした。

ありがとうございました。お世話になりました。



### 第四十八回管内奉詠大会に参加して

第二教区 東照寺 梅花講員 松尾 美恵子



第四十八回管内奉詠大会に於いて奉唱司を勤めさせて頂きました。三年ぶりに開催されるという事で、とてもうれしく楽しみにしておりました。

私は、「お誓い」の言葉が大好きです。流れるようなリズム感のある言葉。これから皆様と心をひとつにしてお唱えしなうと、気持ちを引き締めてくれます。

私は、お願いという言葉に弱いようです。お願いしたいと言われると、私で良ければと思いは、「はい」と答えている自分がいて、後悔してしまいます。このたびは、大丈夫かなと思いつつ、お願いされたことがとても嬉しく思いました。当日まで喉の調子に気を遣い、本番を迎えましたが、何とか成功した。と思いましたが、退場するとき足の運びがロボットの様にガクガクとしてしまいました。無事に終わる安堵したものの、一日半経って失敗したことに気が付きました。それも夜中です。目が覚めました。「お誓い」の三文言が抜けていたのです。いきなり「私達は」から始まってしまい、皆様もビックリされたことでしょう。とてもないことをしてしまつたと反省しました。やはりかなり緊張



張していたのです。私は、何よりもこの役を頂けたことと、経験をさせて頂きましたことに、感謝申し上げます。人として基本的な、仲よい

生活、明るい世の中、この言葉を大切に、一日一日を過ごして生きたいと思えます。ありがとうございます。

### 梅花流特派講習会に参加して

第三教区 眞福寺 副住職 青木 康雄

六月二十日、西有寺様におかれまして、令和四年度梅花流特派講習会が行われ、参加させて頂きました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講習会等の中止や延期が続いておりましたが、やっと人数を入れての講習が行うことができました。参加者はやはり少なめではありましたが、その分会場も広々使え、また集中した講義を受けることができました。

講師の師範は近隣の宗務所からということで、東京宗務所より鬼頭広安師範、神奈川第一宗務所より水島博恭師範に講習していただきました。

前半は鬼頭師範による梅花流創立記念奉讃御和讃、高祖様の梅花を行い、後半是水島師範より永光、追弔御和讃とそれぞれ二曲ずつの講習をしていただき

ました。コロナ禍での講員数の減少や活動の縮小が話題に挙がり、今後も師範の方々の研鑽や活動がより重要に、また活動の場も広がっていかなくてはとも仰っていました。まだなかなか大勢を呼ぶので講習が難しい中、今までもそうでしたが何が必要で何に変化が必要かを再考する機会が持てました。

講師の鬼頭師範、水島師範、そして宗務所の方々もお疲れ様でございました。ありがとうございました。



# 寺族会研修旅行に参加して

第九教区 寶光寺 寺族 宮崎 かえ子

新型コロナウイルス感染拡大「第七波」も落ち着いてきた十月三十一日、三年ぶりの寺族会研修旅行が行われました。お天気にも恵まれた朝の集合場所では、マスク越しの溢れる笑顔で寺族の皆様と久しぶりの再会に喜びました。

初めに豊川稲荷東京別院へ参拝いたしました。あの有名な豊川稲荷さんの別院が何故赤坂にあるのでしょうか。その由来は時代劇『大岡越前』のモデルとなった大岡越前守忠相公が、ご分霊を自宅に祀られたのが始まりだそうです。江戸の発展に尽力された、今もお名奉行として知られている方が、深く信仰していたのかと思うと感慨深いものです。本殿では御祈禱して頂きまして、身の引き締まる思いでした。境内には一度に七福神めぐりもできて、楽しい散策となりました。

山門前での集合写真の後、国宝迎賓館赤坂離宮へ向かいました。フランスの宮殿を思わせるような眩いほどの本館は明治の建築物です。ここかしこに日本の技術、芸術を感じる部分があり、中でも「花鳥の間」では、明治時代に日本画家として始め

てパリへ渡った渡辺省亭の花鳥画をモチーフにした七宝焼が壁に装飾されていて、それは見事なものでした。また「羽衣の間」では、謡曲『羽衣』をモチーフ

に天井画が描かれているのですが、そこには天女は描かれてなく、そこに集う淑女たちが天女として見立てられるとのことでした。そう説明していただいたガイドの方に「今日は皆様が天女ですね。」と言っていた皆さま。見どころ沢山の迎賓館に後ろ髪を引かれながらも、上野の老舗伊豆栄さんでうなぎ御膳に舌鼓を打ちました。

そして最終目的地の国立競技場へ。私にとっては二〇二〇年元日に行われたサッカー天皇杯観戦以来の再訪でした。当時の私は、満席状態に見える客席の斬新な配色に感心したものです。今となっては東京二〇二〇の無観客を想定していたかのようですが、あれから日常生活が大きく変わってしまうとは誰が想像できたことでしょうか。今回

はスタジアムツアーということですが、通常入ることの出来ないロッカールームやフィールドでアスリート気分を味わいました。こうして一日寺族の皆様と一緒にさせて頂きまして、人々と一緒に接することの大切さをつくづく感じる研修旅行となりました。役員の皆様には色々とお世話になりました。ありがとうございました。



### 会長就任のご挨拶

寺族会会長 宗賢院 寺族 瀬戸 みどり

宗務所管内の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より寺族会へご理解ご協力賜りありがとうございます。

さて、このたび寺族会会則に従い本年四月二十日の総会において神奈川県第二宗務所寺族会会長を四年間務めることになりました、七教区宗賢院寺族瀬戸みどりと申します。これまでの会長さまをはじめ本部役員の方々のご尽力と成果を引き継ぎ、少しずつでも着実に貢献できるように鋭意、努力する所存でございます。

私は在家からお寺に嫁ぎ一昨年、真珠婚（三十年）を迎えました。右も左も分からなかった私も気がつけば長い年月が経っていました。まさか私にこのようなお役が...と正直不安でいっぱいでしたが、色々な方との出会いや学ぶ事ができる良いきっかけと捉えました。

総会時にも温かい励ましを賜り大きな支えとなり有り難く、思いを新たにしました次第でございます。

新型コロナウイルス感染症が五類感染症へと引き下げられました。また、まだまだ予断は許され

ない状況において、当面はウィズコロナ対応を堅実に実施しつつ、寺族会を行ってまいります。普段お忙しいご寺族さまの繋がりを深め、情報交換ができる親睦会や心や知識が豊かになるよ

うな勉強会などを役員の方々と共に開催していきたいと思っております。役員の方々もとても誠実に前向きに取り組んで下さっており心強い限りです。このご縁に感謝しております。勉強不足や至らない所もあると思いますが、皆様の温かいご理解と一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

合掌



### 婦人会について あれこれ

婦人会会長 龍福寺 寺族 福井 由香里

婦人会は、正式には「曹洞宗神奈川県第二宗務所婦人会」といい、登録された各寺院婦人会員により組織され、宗務庁の曹洞宗婦人会とも連携しています。会では寺族と檀信徒が一緒になって活動し、その際には全員が「曹洞宗婦人会」の輪絡子を着用致します。

婦人会の経緯は、平成十六年十月に横浜大さん橋ホールで実施された関東管区研修会（この時は宗務所寺族会が実行委員会を組織して実施）が切っ掛けとなり、平成十七年四月に宗務所婦人会設立の願いが出され、六月に設立総会を開催し、役員会が組織されて婦人会活動がスタート。翌十八年四月には第一回総会が開催されました。

令和二年春からは、残念ながらコロナ禍の影響で活動休止状態となり、大切な活動である絵本作りの会も、一昨年は配送形式で実行し、昨年はようやく宗務所に於いて実施することが出来、役員一同安堵致しました。

三年連続の書面総会を経て、本年五月十五日に短縮の午後開催でしたが、第

十八回目の総会と長寿院住職篠原鋭一老師による講演も無事行うことが出来ました。ご出席くださいました皆様、ご尽力いただいた菅原前会長並びに役員の方々に心より感謝申し上げます。尚、本年は役員任期の年でもあり、総会にて改選承認されました。継続組と新加入組とで全役員十二名です。今後も現況を考慮し、可能な限り活動していく所存ですので、皆様どうぞよろしく申し上げます。





# 詠範会たより

会長 桑山 あおい

令和五年度より詠範会会長をお引き受けしました、桑山です。どうぞよろしくお願ひします。

梅花を習い始めた頃はただ、ただ曲を覚えるのに一生懸命でしたが、多くの素晴らしい先輩やお仲間と共に楽しく勉強させて頂いてここまで来る事が出来ました。たいへん感謝しております。

詠範の活動を通じて大本山總持寺でご和讃、ご詠歌をお唱えすることがありますがこの私自身もお釈迦さまとつながっていると再認識させて頂きました。多くのご縁によって今ここに存在していると感じられたからです。また、管内大会や検定のお手伝いの折りにも梅花講の講師の方々と親しく和やかな時間を持つ事ができております。梅花講の講師さんや詠範の皆様と梅花流詠歌をお唱えする事がたさをより深く味わえますよう努力してまいります。

合掌

副会長 大澤 公子

「チャンス」微笑会（初心者講習会）が発足したのは平成十七年、わが教区は参加者が無く、本部役員だった役員二名で仕方なく参加しました。福田先生ご指導のお陰で御詠歌が楽しみになり、今では寺族として、とても良かったと感謝です。

副会長 石井 万里

梅花と出会ってから早六十年。梅花が大好きだった母の三宝御和讃を子守歌のように聞いて育ってまいりました。

途中、何年か離れておりましたが、平成十七年、基礎から教えて頂く機会に恵まれ福田先生をはじめ諸先生方のご指導のもと、研鑽を積んで参りました。学ぶ程に奥深く、迷子になる事も出来ない事も数多くあります。が、今回こうして詠範会のお手伝いをさせて頂けることに幸せを感じております。

役員みなさまと協力して、お手伝いできればと思っております。

書記 梅田 美也

何もわからない私に、根気よく指導して下さいました先生方、先輩方に少しでも御恩を返せるよう、微力ながら尽力します。

書記 中津川 香澄

梅花に出会って、はや十一年が経ちました。私が始めてお稽古したのは紫雲で、そのお唱えのハードルの高さに戸惑った事を、今も鮮明に覚えています。挫折しないで続けられた事、お誘い下さり指導して下さいました恩師との出会いに感謝です。

會計 上形 ひろみ

- 役員二期目です。詠範会の良いところは
- ①素晴らしい師範の先生のご指導
  - ②先輩や大勢の仲間とともに学べる
  - ③講師さんと向き合うための自信につながる
  - ④楽しいです！よろしくお願ひいたします。

會計

宮崎 かえ子

年齢を重ねるにつれて御詠歌の有難み、深み、楽しみが増してきました。これまでの先輩方が築いてきた詠範会を大切にしながら、皆様の楽しみのお手伝いをしてまいります。多くのご参加をお待ちしております。



二月箱根宿泊研修

## 初心者講習会随時募集中

詠範会では梅花をはじめたい  
寺族の方を募集しています  
詳しくは裏表紙をご覧ください

# 梅花初心者講習

詠範会

## 受講生随時募集中

毎月 第一月曜日 13時～  
本覺寺 (6.7.8月は除く)

初心者講習受講生より

🌸 60の手習いで御詠歌はじめました。習い初めて半年たちましたが月1回のお稽古を楽しみながらお勉強しております。 R.Y.

🌸 お稽古を初めて9か月間まだまだ進歩のない状況でございますがこれからも頑張ってお稽古に伺いたいと思います。 荒原純子

連絡先 書記 観音寺 梅田美也 045-811-1405

### 福寿会

福寿会(七十歳以上の諸老師方をお祝いする会)が十一月二十八日に横浜ベイシユラトンホテルにて三年ぶりに開催されました。会員諸老師をはじめ宗議会議員老師、教区長老師、宗務所役職員が参加しました。久しくお会いしていない諸老師にお会いでき楽しいひと時を過ごさせて頂きました。



### 編集後記

令和五年六月に教区長の交代があり、宗務所の体制も整いました。四年間、よろしくお願ひいたします。今号では前宗務所による活動を中心に報告させていただきましたが、新型コロナウイルスの流行によって行動制限がある中での活動はご苦労も多かったことと存じます。四年間の奉職大変お疲れ様でした。

松尾芭蕉の言葉に「不易流行」というものがあります。伝統を踏まえつつ、一方で新しいものを取り入れていくことが大切だという意味ですが、寺院の活動でも曹洞宗の伝統を踏まえつつ、今、何が必要とされているのかを常に考えていくことが大切になります。

特に新型コロナ禍では「不急」の言葉が多く聞かれました。その中で今、必要な活動とは何か、その活動を行う意味は何か、また、どのように実施すべきかを考えさせられました。

宗務所での活動も、新型コロナ禍を経験して得た様々な智慧を活かし、有意義な活動ができるように努めてまいります。皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教化主事 館盛